

令和7年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート（令和6年度の振り返りと令和8年度の取組検討）

施策No	221	
施策名	スポーツツーリズムの推進	施策の目的 ● スポーツを目的とした来訪者の増加を図ります。 ● スポーツ大会等の運営に多くの人から協力が得られる体制を整えます。 ● スポーツ大会や合宿等の本市での開催を推進します。
関係課	スポーツ推進課、広報ブランド推進課、市民生活課、産業政策課、農政課、農山村振興課、観光推進課	

1. 進行管理

(1) 指標の実績・考察と目標年度（令和7年度）の目標値達成見込み

指標	単位	実績値						見込値	目標値	最終年度（R7）の目標値達成見込	R6年度の実績説明・考察及びR7目標値達成見込判断の理由
		R2	R3	R4	R5	R6	R7				
a	宿泊者のあるスポーツ大会又は合宿の数	件	4	14	28	28	31	30	40	④現在の想定では目標達成が困難	R5年度同様のクリケット大会が実施されたこと、新たにラクロス女子代表合宿等が行われたことでR5より微増した。R7については、現状以上の大会誘致は施設の面から困難であるため、R6実績同等と想定する。
b	スポーツイベント又は合宿への市外参加者数	人	1,672	4,883	7,241	13,447	15,362	15,000	8,500	①既に目標値達成済み	R5年度同様のクリケット大会が実施されたこと、新たにラクロス女子代表合宿等が行われたことでR5より微増した。R7については、現状以上の大会誘致は施設の面から困難であるため、R6実績同等と想定する。
c	スポーツ大会、イベント等に協力するボランティア数（延べ人数）	人	32	20	323	190	110	150	1,800	④現在の想定では目標達成が困難	R6はさのマラソン大会・大澤駅伝競走大会において活用した。最近の大会については簡略化や省力化を図っていることから、延べ人数は減少するものと予想する。
d	スポーツ目的で本市に訪れた人の域内消費額	千円	-		108,558	154,309	185,699	155,000	255,000	④現在の想定では目標達成が困難	R5年度同様のクリケット大会が実施されたこと、新たにラクロス女子代表合宿等が行われたことでR5より微増した。R7については、現状以上の大会誘致は施設の面から困難であるため、R6実績同等と想定する。

(2) 構成する事務事業の昨年度（令和6年度）の取組結果 ※効果が上がった、下がったの判定は、事業効果を説明する指標のR5との比較となります。

① 施策関連区分A（実施計画事業）

【効果が上がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	事業費（単位：千円）						効果説明
				R4	R5	R6	R4	R5	R6	
1	スポーツツーリズム推進事業	宿泊者のあるスポーツ大会または合宿	件	28	28	31	200	200	396	ラクロスU20女子日本代表の合宿を初めて受け入れたこともあり、宿泊者のある大会等は目標を達成できた。
		スポーツイベント又は合宿の市外参加者	人	7,241	13,447	15,362				
3	サイクルツーリズム推進事業	サイクルイベント参加者数	人		70	90	0	2,983	566	募集枠100名（一般85、サイクルトレイン15）の定員が早期に埋まるほど魅力のあるイベントになってきている。またエイドステーションとなった地域の住民との連携も図られたほか、参加者の満足度の高いイベントとなった。インフルエンサーを活用しSNSによる情報発信を行い、佐野市のサイクリングの魅力を広く発信できた。
4	国際クリケット場整備計画策定事業	整備方針の策定	1			1	0	0	495	佐野市国際クリケット場整備方針（案）の策定
8	スポーツボランティア育成事業	スポーツボランティア登録者数	人	51	12	16	0	0	0	支えるスポーツは市民の協力なしにスポーツ大会イベントの運営等を果たせず、スポーツを推進する上でスポーツボランティアの活用は重要である。

【効果が下がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	事業費（単位：千円）						効果説明
				R4	R5	R6	R4	R5	R6	
5	クリケット活用地域活性化事業	クリケット場来場者	人	39,889	37,948	39,595	9,162	9,498	7,921	年間を通し、クリケット以外による誘客策を実施したことで、クリケットプレイヤー以外の来場者を確保することができた。また、商業施設内でクリケット体験イベントを実施した。これらにより、クリケットにあまり興味がない市民等に対し、クリケットへの理解やクリケットのまち佐野の認知度向上に寄与したと考える。
		クリケット関連域内消費額	千円	51,804	78,295	70,235				
7	さのマラソン大会開催支援事業	参加人数	人	1,227	1,455	1,191	2,000	5,000	6,950	参加者の半数は市外からの参加者であり、ツーリズム事業として効果があつたと考える。
		内、市外参加者数	人	483	722	660				

② 施策関連区分B（実施計画事業以外）

【効果が上がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	事業費（単位：千円）						効果説明
				R4	R5	R6	R4	R5	R6	
9	大澤駅伝競走大会支援事業	エントリーチーム数	チーム	146	159	175	700	700	700	参加チームの約80%は、市外からの参加であり、スポーツツーリズムの推進が図られている。

【効果が下がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	事業費（単位：千円）						効果説明
				R4	R5	R6	R4	R5	R6	
2	国際クリケット場維持管理事業	利用者数	人	18,092	18,499	17,723	17,772	23,037	28,090	・スポーツ大会やスポーツ合宿を誘致、スポーツツーリズムを主体的に供用、市内施設での合宿やイベント等により集客する。

(3) 基本方針の取組状況

① 特に実績をあげている取組（計画初年度（令和4年度）以降の取組状況）

・クリケットを活用したインバウンド等を推進し、本市の魅力を海外に発信するとともに、経済交流、産業振興、教育・国際交流等へつなげることで地域の活性化を図る。（日本クリケット協会と連絡調整を行い、SBIカップ・エンバシーカップ等の大会を通して在日大使館との交流を行い本市の魅力を伝えることができた。特にインド大使館については、令和6年度に駐日インド大使館インストラクターによる200人ヨガイベントや駐日インド大使館で開催された「栃木デー」に県内自治体では唯一本市が参加し市のPRを実施、インドでのビジネス展開等のきっかけとなるビジネスセミナーの開催など経済・文化交流を図った。また、国際大会等で訪れた海外チームの学校訪問やクリケットの本場イギリスよりコーチを招へいし、生きた英語でのクリケット体験やイギリス文化に触れる授業を市内小中学校対象に実施し教育・国際交流を図った。）

② 未着手等計画通りではない取組（及び今後の対応）

・スポーツボランティア制度を周知しボランティアの確保を図るとともに、スポーツ大会等の運営にボランティアが協力しやすい環境を整備する。（スポーツボランティア制度については、普及啓発を積極的に行い登録者数を確保するとともに活躍の場の拡大を図る。）

(4) 令和6年度行政経営方針の取組状況

① 令和6年度行政経営方針

・2028年に開催されるロサンゼルス夏季五輪の追加競技としてクリケットが承認されたことにより、本市の国際クリケット場やクリケット競技そのものに対する国内外からの関心が急速に高まることと期待されることから、これを好機と捉え、日本クリケット協会と連携し国際大会等の誘致を行うとともに、大会等の情報を市民に発信する。また、来訪する外国人をおもてなしの心で迎える機運を醸成することで、経済、産業、観光、国際交流等の推進につなげる。
 ・市民に国際クリケット場の利活用と認知度が向上するよう、様々なイベント等を実施するとともに、SNS等を積極的に活用し周知を行う。
 また、国際クリケット場に来訪する外国人と小中学生を含む市民が交流できるよう、機会や場所を提供する。
 ・国際クリケット場における大使館等との交流を起点とし、市内企業と海外企業とのビジネス交流を生み出す。
 ・国際クリケット場に来訪するプレイヤーやその関係者に対し本市の魅力を発信し、市内への回遊の流れを作る。また、市の伝統工芸品や市で生産されるいちご等の農産物の購買につながるよう戦略を立て、域内消費につなげる。
 ・国民体育大会のレガシーとして、各種大会・イベントにおいて、積極的にスポーツボランティアを活用する。また、スポーツの推進に係る事業にスポーツ推進基金を活用し、大会の成果を継承する。
 ・唐沢山や奥佐野でサイクルイベントを実施し、サイクリストの市内回遊によりサイクルツーリズムを推進する。

② 令和6年度行政経営方針の取組状況

・モンゴル代表チームが来佐した際、市民にクリケット場の来場促進策として試合の実況解説を行うとともに、クリケット場や商業施設にてクリケット体験会を開催した。また、今後様々な交流につなげられるよう、庁内関係各課による「クリケット活用検討会」を立ち上げ検討を行い各分野において今後進めるべき事業をまとめた。
 ・SBIカップやエンバシーカップ等の大会を通して在日大使館との交流会の開催や佐野市伝統工芸品振興協議会によるブース展示を行い本市の魅力を伝えることができた。特にインド大使館との交流については、駐日インド大使館インストラクターによる200人ヨガイベントや駐日インド大使館で開催された「栃木デー」への参加、ビジネスセミナーの開催など文化・経済交流を図ることができた。
 ・スポーツ推進基金を活用し、さのマラソン大会を開催した。また、さのマラソン大会・大澤駅伝競走大会ではスポーツボランティアを積極的に活用し、市民のおもてなしの醸成を図った。
 ・旧葛生小を発着点とし、佐野市北部（奥佐野）を周遊するサイクルイベント「第3回ツール・ド・奥佐野」を実施した。エイドステーションに野上地区のイベント（物産市）会場や遠藤食品直売所、出流原弁天池を設定し、地域のもつ「おもてなし」に触れていただくとともに自然環境を知っていただき本市への継続的な来訪を促した。

2. 課題と次年度（令和8年度）の取組

(1) 課題<環境変化や関係者の意見、要望等を踏まえて>

(2) 課題に対する今年度（令和7年度）内の取組状況、予定

(3) 次年度（令和8年度）の取組（案）

<p>①スポーツリズムに繋がる各種スポーツ大会、合宿等の継続した誘致 ②スポーツリズムに繋がる大会、イベントの見直し ③スポーツボランティア制度のPRと活躍の場の拡大 ④スポーツ推進基金を活用した、大会・イベント等の実施（実施期間2023年～2032年） ⑤クリケットによる地域の活性化、およびクリケットのまちづくりに関する市民の理解促進</p>	<p>①石井琢朗杯選抜中学野球大会等の実施に加え、新たに陸上競技大会（SANOTワイライトゲームズ）の支援を検討する。また令和8年に開催されるアジア競技大会に合わせたクリケット関連の取組を検討する。 ②さのマラソン大会では、参加者の増を図るためハーフマラソン部門を継続して、実施する。 ③さのマラソン大会、大澤駅伝競走大会等において、事前準備や当日の大会運営にボランティアの協力を得る。 ④さのマラソン大会を開催して全国からランナーをお迎えし、本市のPRとイメージアップを図る。 ⑤初の市主催クリケット国際大会を実施し、市内中高生との国際交流の機会を設けた。また、参加選手による佐野市の魅力をSNSで発信してもらった取組や佐野市のお土産品の販売あっせんを行った。 クリケット場の整備においては、R6年度に策定した整備方針（案）の庁内合意を図る。</p>	<p>①市主催「クリケット国際大会」第2回女子佐野市国際トロフィーを実施する。またアジア競技大会・クリケット出場国のキャンプや親善試合の誘致が決まった場合、栃木県スポーツコミッション等と連携して受け入れをする。 ②市外からの参加者が増加するように、既存の大会、イベントの改良を図る。 ③スポーツボランティア制度の普及啓発を図り、登録者を確保するとともに活躍の場の拡大を図る。 ④いちご一会とちぎ国体・全国障害者スポーツ大会のレガシー承継のため、スポーツ推進基金を活用し、スポーツの魅力を感じられる事業展開を図る。 ⑤クリケット大会等に合わせた国際クリケット場への来場促進策や中高生との国際交流の場を創出する。</p>
---	---	--